

## 学科等における教員養成に対する理念・目標・教育課程

学部・学科	人文学部キリスト教学科
校種（免許教科）	中学校教諭一種免許（宗教） 高等学校教諭一種免許（宗教）
<p>(1) 学科の理念</p> <p>キリスト教学科は、「人間の尊厳のために」という教育モットーのもと、南山大学の建学精神の源であるキリスト教を、宗教、文化、芸術、哲学、歴史など様々な側面から、学問的方法論に基づいて学ぶ学科である。宗教について知るということは、異文化を深く理解するために不可欠であるばかりでなく、日本という自国の文化を理解するためにも必須である。そのため、本学科では、キリスト教の土台をなす聖書の基礎知識を必修として学んだ後、古代から現代に至る歴史や哲学・思想による探求、キリスト教と様々な宗教との対話や比較、生命や環境への倫理的問いかけなど、複数のディシプリンに基づく多様な講義・演習を通じてキリスト教や他宗教を客観的立場から多視点的に理解し、それにより、異文化を尊重・理解し、多様な価値観を認めて他者と交流できる人材を育成する。</p> <p>(2) 教員養成の目標・計画</p> <p>今日の日本では宗教に否定的なイメージを抱く人々が若者を中心に多数派となっているが、グローバル化のなかで様々な異文化衝突が生じている現代においては、今なお文化や政治を規定する力を持つ宗教を理解することは、ますます重要となっている。キリスト教学科では、「キリスト教に関する基礎的知識と理解」や「キリスト教を中心とする思想的、文化的、歴史的、実践的分野での学び」を土台にしつつ、「異文化理解のための基礎的知識と技能」を高めるために、過去から現在に至るまでの宗教に関する知識と、それに基づく広い視野を養って、世界各地に存在する様々な宗教・思想について中立的立場から多視点的に理解・解説できる教員の育成を目指している。</p> <p>また、「人間の尊厳を尊重し、建学の精神をもって社会に積極的に貢献する姿勢」を培って、文献に基づく知識だけではなく現代社会への問題関心を持ち、宗教・思想という精神的遺産を現代社会に活かすために有効な指針を教示し、新聞の紙面を賑わす様々な問題をどのようにして捉え、宗教をどのように考えるべきなのかについて、生徒たちを導くことができる教員の育成も目標である。</p> <p>以上のような目標の実現に向けての本学科での教育は以下の通りである。</p> <p>第一に旧約聖書学、新約聖書学、組織神学などを学ぶことで、キリスト教の土台となっている聖書およびキリスト教神学に関する知識と理解を涵養する。第二に、キリスト教倫理学、初期キリスト教思想、キリスト教思想、キリスト教哲学といった科目を通して、キリスト教の思想・哲学について古代から現代に至るまで広範に学び、キリスト教に関する理解を客観的・学問的立場からさらに深めていく。第三に、宗教学や宗教史、宗教思想などによりキリスト教以外の諸宗教およびその思想内容を概括的に学び、宗教について教えるために必要な中立的かつ包括的な知識を養う。第四に、哲学史やキリスト教史などの科目を学び、人類の知的遺産や過去の営みに触れることを通して、多様な価値観を認め、異文化を尊重する教員を育成できるようにする。第五に、少人数教育により、講義や演習いずれにおいても、講師や受講者同士が密にコミュニケーションを取りながらじっくり問題に取り組むことが可能であるという本学科の利点を生かし、容易に解答の出ない複雑な問題に対する思考力を育てる。</p> <p>(3) 授業科目・教育課程の編成実施（校種・免許教科別に記載）</p> <p>(ア) 中学校教諭一種免許（宗教）</p> <p>キリスト教学科では、教育職員免許法の規定に従って「宗教学」、「宗教史」、「教理</p>	

学・哲学」の三つの科目区分について、それぞれ特色ある授業科目を設けている。まず、「宗教学」では「宗教学」を必修科目とし、「宗教史」では「宗教史Ⅰ」を、「教理学・哲学」では「宗教思想A」「宗教思想B」を選択必修としている。

その他、キリスト教学科科目から内容が各科目区分に該当するものをそれぞれ選択科目として配置している。それらは、「宗教学」では「キリスト教倫理学」「旧約聖書学」「新約聖書学」「宗教社会学」など13科目、「宗教史」では「宗教史」「キリスト教史」「初期キリスト教思想」「キリスト教思想」など18科目、「教理学・哲学」では「組織神学」「古代哲学史」「中世哲学史」「近世哲学史」など14科目である。

なお、「教科および教科の指導法に関する科目」については、「宗教科指導法A」「宗教科指導法B」「宗教科指導法C」「宗教科指導法D」の8単位が必修である。

以上の科目から、必要最低単位数として28単位を取得する。

(イ) 高等学校教諭一種免許（宗教）

教育職員免許法の規定に従った三つの科目区分、および必修科目・選択必修科目・選択科目については、概ね上記の（ア）と同様であるが、「教科および教科の指導法に関する科目」に関しては、最低取得単位数が4単位となっている。従って、取得すべき必要最低単位数は24単位である。